



三田 敏和 議員

ふるさと納税の返礼品見直しは

坪根町長 地方の言い分を提言し年度内に

図 29年度、ふるさと納税の実績は。
堀田課長 寄附金は約11万人の方から約12億円頂いている。

図 県内順位は。
堀田課長 福智町、宗像市に続く3位である。

図 上毛町の返礼品上位3品と生産地は。
堀田課長 第1位、特盛り豚切り落とし4キロ(九州産)約4億5000万円、2位、黒毛和牛切り落とし1キロ(大分産)約2億5000万円、3位、黒豚入り味噌つけぎョーザ(鹿児島産)約1億3000万円で、いずれも寄付金額1万円の返礼品となっている。

図 30年度も順調に推移していると聞か、8月までの実績は。
堀田課長 現在、約4億2000万円。前年比の3倍程度で推移している。

図 返礼品過熱を受けて、総務省が返礼品の調達価格を寄附額の3割以下にするなどがあるがどうか。
堀田課長 返礼割合は3割以下ではない。地場産品については、上毛町の返礼品選定基準として、町内事業者の扱い商品としている。

図 寄付額10億超える中で、平成30年8月までに見直す意向がない自治体として上毛町が公表されている。

図 水道普及の目標範囲は。
尾崎建設課長 平成21年度に策定した上毛町水道事業基本計画では、2020年度までを中期目標ということで、地域としては成恒上・下、緒方、下田井、新谷及び下唐原2区・土佐井の一部を給水エリアと定めている。2030年度を長期目標として下唐原西1区・2区・東区、上唐原北区・南区、百留を給水エリアとして目標を立てている。

図 水源の確保は。
尾崎課長 伊良原ダムを合わせて800tの送水を得て成恒地区、緒方地区、下田井・新谷地区及び大池公園の部分にあてている。

図 地震に対する対応は。
尾崎課長 ある程度の耐震は備えているが、耐震度が幾らかは承知していない。

図 同業種でも創業は可能か。
永野課長 要件に当てはまれば助成は可能である。

図 創業後の査定審査は。
永野課長 3年間は状況を確認し、事業報告を提出していたら、商工会と連携し、意見書・経営指導された内容などで確認している。

図 創業体制の啓蒙活動は。
永野課長 商工会と連携を取りながら周知して行く。

田中 唯登志 議員

定住を目指す住宅環境の取り組みは

堀企画情報課長 安全・安心な地域での整備を検討



図 定住を目指す計画的な土地利用は。
堀企画情報課長 平成25年度から分譲を進めているコモンパーク彩葉は61区画の分譲が行われ、54世帯・187人の方が住民として登録されている。今後、優良田園住宅ゾーンを中心に、災害の少ない新たな分譲地の整備を検討して行きたい。

図 具体的な計画は。
堀課長 新たな分譲地の選定については、今年度行うよう計画している。また農振地域や農転などが可能か調査している。

図 公共施設の予防保全型の維持管理は。
岡崎総務課長 公共施設などのマネジメントの基本方針として施設の向上、長寿命化を設定しており、今後の大きな方向性を整理したものである。橋梁については建設課所管、町営住宅については住民課所管で長寿命化計画を行っている。

図 行政サービスを向上し、公共施設を維持していくために、どの様に住民のニーズの変化に対応していくのか。
岡崎課長 改修などをうまく行いながら長寿命化を図っていき、しっかりと対応して行く。健康増進施設とトレーニングセンターについては、庁内でプロジェクト

図 水道普及の目標範囲は。
尾崎建設課長 平成21年度に策定した上毛町水道事業基本計画では、2020年度までを中期目標ということで、地域としては成恒上・下、緒方、下田井、新谷及び下唐原2区・土佐井の一部を給水エリアと定めている。2030年度を長期目標として下唐原西1区・2区・東区、上唐原北区・南区、百留を給水エリアとして目標を立てている。

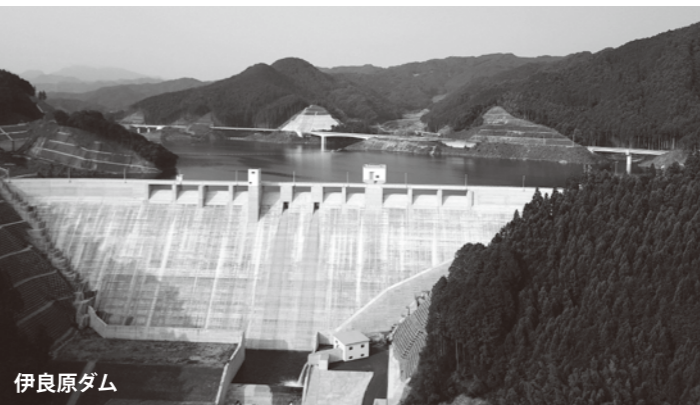
図 水源の確保は。
尾崎課長 伊良原ダムを合わせて800tの送水を得て成恒地区、緒方地区、下田井・新谷地区及び大池公園の部分にあてている。

図 地震に対する対応は。
尾崎課長 ある程度の耐震は備えているが、耐震度が幾らかは承知していない。

図 同業種でも創業は可能か。
永野課長 要件に当てはまれば助成は可能である。

図 創業後の査定審査は。
永野課長 3年間は状況を確認し、事業報告を提出していたら、商工会と連携し、意見書・経営指導された内容などで確認している。

図 創業体制の啓蒙活動は。
永野課長 商工会と連携を取りながら周知して行く。



伊良原ダム



そば処「白水」

図 30年度も順調に推移していると聞か、8月までの実績は。
堀田課長 現在、約4億2000万円。前年比の3倍程度で推移している。

図 返礼品過熱を受けて、総務省が返礼品の調達価格を寄附額の3割以下にするなどがあるがどうか。
堀田課長 返礼割合は3割以下ではない。地場産品については、上毛町の返礼品選定基準として、町内事業者の扱い商品としている。

図 寄付額10億超える中で、平成30年8月までに見直す意向がない自治体として上毛町が公表されている。

図 水道普及の目標範囲は。
尾崎建設課長 平成21年度に策定した上毛町水道事業基本計画では、2020年度までを中期目標ということで、地域としては成恒上・下、緒方、下田井、新谷及び下唐原2区・土佐井の一部を給水エリアと定めている。2030年度を長期目標として下唐原西1区・2区・東区、上唐原北区・南区、百留を給水エリアとして目標を立てている。

図 水源の確保は。
尾崎課長 伊良原ダムを合わせて800tの送水を得て成恒地区、緒方地区、下田井・新谷地区及び大池公園の部分にあてている。

図 地震に対する対応は。
尾崎課長 ある程度の耐震は備えているが、耐震度が幾らかは承知していない。

図 同業種でも創業は可能か。
永野課長 要件に当てはまれば助成は可能である。

図 創業後の査定審査は。
永野課長 3年間は状況を確認し、事業報告を提出していたら、商工会と連携し、意見書・経営指導された内容などで確認している。

図 創業体制の啓蒙活動は。
永野課長 商工会と連携を取りながら周知して行く。



図 今年、文科省が夏休み期間の延長などの対応を検討するよう求める通知を出しているが、対応は。
道免教育長 本町の各小中学校の普通教室などはエアコンが設置されている。暑さ指数(※)などの熱中症予防情報に留意しつつ、屋外や体育館での活動などに細心の注意を払って教育活動を行えば大きな支障はないと判断し、夏季休業日の延長はしなかった。※熱中症の危険度を判断する数値として、環境省で平成18年から情報提供している指数。

図 二学期、始業式の対応は。
教育長 西吉富小学校と上毛中学校は屋内運動場、他の3小学校は廊下または普通教室などを活用した。実施時間も小学校は20分程度、中学校は40分程度で若干短めに行ったと報告を受けている。

図 ランドセルが重く、一年生は平均7キログラムあるという。健康面からも対応が必要。上毛町の現状と対応は。
教育長 家庭学習に必要がないものは学校に置くなど負担を軽減する取り組みを、すでに校長の判断で行っている。その中に教科書や副読本も入っている。文科省か

子どもたちに議会活動の啓発は
図 議会傍聴を勧めるべきでは。
教育長 学校長に伝え、検討するように話していきたい。

図 児童生徒に学校のことや、身近な問題を問う、子ども議会の開催をすべきと考えるがどうか。
教育長 議会制民主主義を体験的に理解することや、社会参画への態度や意欲を培う意味からも意義ある。ただ、さまざまな条件整備も必要で、他市町の情報なども十分収集しながら検討させていきたい。